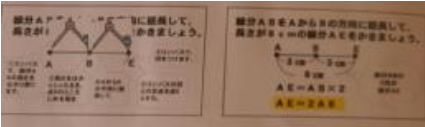



平成30年度「教材・教具の部」入賞作品一覧

学校名	応募者名	教科領域	作品	作品の説明
多治見市立養正小学校	榎岡 智恵	理科	向きピカ 	どの児童にも、自分の手で実験を行い、確実に知識及び技能の習得へとつなげるためのLEDの教具である。安価なLEDを用いて、導線への接続についても、容易にできるように工夫された作品である。
			線路のすき間うまるかな 	本教具を鉄道のレールの隙間に見立てたモデルとして、終末事象で提示し、学習内容を実生活へと適用させることは、深い学びへとつながる授業改善でもある。科学を学ぶ意義や有用性を実感できる作品である。
多治見市立滝呂小学校	加藤 三保子	保健指導	歯は一生の宝物 	模型のサイズが大きいため遠くからでも見やすく、実際に手に取って磨き方も練習できるように作られているため、児童が興味関心をもって学ぶことができる。また、歯磨きの仕方を丁寧に解説しているため、児童にとって多くのことを学べる教具である。
多治見市立笠原中学校	太田 鎮幸	理科	顕微鏡の写真撮影補助器 	顕微鏡で観察した事実を生徒同士が交流する際、従来のスケッチを基にした交流では、根拠となる事実が共有されにくい場合がある。そのため、生徒がICT機器をツールとして使用し、静止画を用いた交流は、対話的な学びを実現していくための有効な教具となる作品である。
多治見市立北陵中学校	中川 智香子	数学	パワーポイントのアニメーションの効果を使った平面・空間図形の教材 	作図の手順や図形の移動等において、何に着目すればよいかを視覚的に捉えることができるようにした教具である。教科書を活用するとともに、一つの手順ごとにスライドを示すことで、より分かりやすくなり、生徒にとって理解しやすいものとなっている。
土岐市立駄知小学校	土岐市立駄知小学校	総合	駄知ふるさとかるたマップ 	地域住民やPTAの方々とともに、児童自ら絵札づくりなどを行うことで地域と共に歩む学校づくりとなっている。また、このかるたづくりやかるた遊びを通して、郷土への誇りを高め、愛着をもつ児童育成が期待できる教材である。
土岐市立妻木小学校	溝口 喜久 岡 龍郎 曾根 理恵子	防災教育	命を守るための通学路点検 	学校、PTA、地域防災士会の方などが連携して、児童の安全について取り組んでいる。また、高学年の児童が低学年の児童を支援し、通学路の安全性について確認するなど、児童の安全に対する意識の向上にもつながっている参考にした価値ある取組である。

学校名	応募者名	教科領域	作品	作品の説明
土岐市立 土岐津小学校	栗野 聖崇	理科	「間近で見よう！川の流水モデル実験機」 	流れる水のはたらきについて、できるだけ大きい実験装置で追究することで、事実を捉えやすくなるよう工夫している。流れる水のはたらきによって、土地のようすの変化まで考えさせ、豪雨災害などの自然災害の学習にもつながる教具である。
土岐市立 泉中学校	小池 智明	美術	陶芸施釉色見本 	東濃ならではの教材・教具である。授業の中で、実際に教える立場として、自ら実践した事柄が1つ1つ丁寧に写真を加え掲示してある。まとめ方・提示の仕方なども参考にしたい作品である。
瑞浪市立 瑞浪中学校	数学部会	数学	ヒストグラム～階級の幅を変えてみよう～ 	同じデータであっても、階級の幅が異なると、ヒストグラムから読み取れる傾向が異なる場合があることに気付くことができる教具である。目的に応じてデータの分布の傾向を的確に読み取ることができるようにすることに有用である。
瑞浪市立 瑞浪中学校	酒井 祐樹	理科	エネルギー変換体験装置 	エネルギーの変換について、その具体を考えることができる。エネルギー変換に興味をもつことにつながる。光通信の原理として、科学技術の発展に関わって用いることができるなど、多くの利用が考えられる作品である。
恵那市立 大井小学校	中村 美香	特別支援	課題達成パレット 	見通しがあることで安心して活動できるという児童の実態に依拠している。写真を貼り替えることで主体的に自分の予定を計画することができる。また、達成状況を即座に確認し、自己評価も行いやすい。写真の種類を増やすことで他の児童へも活用できる。
恵那市立 中野方小学校	岸本 卓也	体育	体育科授業における板書用カード・模型 	色使いを工夫することで、児童に見やすく、耐久性にも優れたカードであるため、様々な領域で活用できる板書カードになっている。サッカーの教具は、実物を使って立体的に作成し、動きを高めるためのポイントが児童に分かりやすい教具である。
恵那市立 明智小学校	柴田 華奈子	保健指導	歯の大切さ「どこにむし菌があるかな？」 	カバの口を開くと虫菌になりやすい場所がひと目で分かる仕組みにしたことで、児童が関心をもって学べるようになっている。また、シールを貼って虫菌の数がひと目で分かるだけでなく、歯の役割を端的に説明した場所もあるため、歯磨きの大切さを児童が実感できる教具である。

学校名	応募者名	教科領域	作品	作品の説明
恵那市立 恵那西中学校	熊崎 裕子	特別支援	正の数・負の数すごろく 	在籍する生徒の自立活動のねらいを踏まえており、意図が明確な教材となっている。数学の基礎的・基本的な内容を繰り返し楽しみながら取り組める工夫がある。サイコロやすごろくの内容を生徒の状況に合わせて変えるなどの活用ができる。
恵那市立 恵那西中学校	加藤 佑弥	技術	さしがねによるけがき示範動画 	基準面の取り方から、さしがねの持ち方、使い方まで、丁寧に説明してあるため、初めて「けがき」をする生徒にとってはとても分かりやすいものになっている。また、作業途中で困った際に、確認するために用いることができ、様々な場面での活用が考えられる。 生徒側からの撮影ができると、さらに生徒が使用しやすくなる。
中津川市立 川上小学校	三尾 萌子	保健指導	ていねいなはみがきをしよう模型& 児童委員会演劇セット 	模型を大きく作り、演劇で活用しても歯の細かい部分までよく見える大きさで作られている。また、材料の材質や形状を利用して、本物のような歯の模型を作成し、児童が興味をもって学べる工夫がされている。

